



T O K Y O ROPPONGI ROTARY CLUB

東京六本木ロータリー・クラブ



『未来を見据えて』

～Road to the Future～

東京六本木ロータリー・クラブ会長

W E E K L Y R E P O R T

『地域を育み、大陸をつなぐ』

～Building Communities

-- Bridging Continents～

国際ロータリー・クラブ会長

発行日 2011年4月11日

第267号

2010-2011年度 No. 32

本日のプログラム

平成23年4月11日

卓話 『食の安全と消費者の不安』

東京大学 名誉教授

唐木 英明 様

プロフィール

〔現職〕

東京大学名誉教授
日本学術会議副会長(国際担当)
内閣府食品安全委員会専門委員
「食の信頼向上をめざす会」会長
食品安全情報ネットワーク代表

〔学歴〕

東京大学卒業。
獣医師、農学博士、国際認定トキシコロジスト

〔職歴〕

東京大学助手・助教授・教授
アイソトープ総合センター長・名誉教授、
テキサス大学ダラス医学研究所研究員、
World Health Risk Management Center
客員教授

〔主な著書〕

『牛肉安全宣言 BSE問題は終わった』PHP出版
『暮らしの中の死に至る毒物・毒虫』講談社
『安全の費用』安全医学
『食の安全と安心を守る』学術会議叢書
など

クラブからのお知らせ [4月4日例会]

● 会長

- 例会前に花岡ガバナー補佐と加藤グループ幹事が来訪され、色々とお話をさせて頂きました。
- 東京六本木RCからはニコニコBOXから300万円を、東日本大震災の義援金としてガバナー事務局へ29日に送金させて頂きました。
- 津波・地震・原発と問題が色々ありますので、今後の寄付・応援体制を検討していきたいと考えております。
- ソフトバンク孫社長が義援金として個人で100億円を寄付されたというニュースを聞きました。
- 今の政治を見ているとリーダーシップの欠如を感じます。また、判断材料となる明確な情報が必要だと考えます。為替も76円から84円と変動が大きく、日本経済の先行きが心配です。
- 本日はライラリアンの2名の方が例会に参加されておられます。

● 幹事

- 来週、次年度理事会開催のお知らせ
- 教育支援プログラム協力をお願い
西町インターナショナルスクール及び、聖心インターナショナルスクールの生徒受入
- 義援金としてニコニコBOXより3月29日に300万円を送金致しました。
- ロータリー財団より募金のお願い
- ロータリーリーダーシップインスティテュート
4月26日(火) 8:30～
国立オリンピック記念青少年総合センター
田中作次RI会長ノミニーご挨拶及び南園義一元RI
理事の講演 9:10～
- 神宮RC明治神宮清掃奉仕のご案内(4月20日)
- 東京米山友愛RC創立1周年記念例会のご案内(4月24日)



東京六本木ロータリー・クラブ

TOKYO
ROPPONGI
ROTARY CLUB

平成23年3月7日

卓話 『ユネスコの将来』

株式会社パソナ 特別顧問

前ユネスコ事務局長

松浦 晃一郎 様

松浦でございます。今日はユネスコの将来の話をしていただきます。

ユネスコの発足は1946年。戦後の国際秩序を作るに当たり、国際連盟の反省も踏まえて政治、軍事は国連が担当するけれども、教育、文化、科学、コミュニケーションはユネスコが担当するということで作った国連の専門機関です。ユネスコ憲章の前文で、戦争は諸国民の間の誤解によって生じる。従って戦争を防ぐためには人の心に平和の砦を築く必要があるという言葉がございます。ユネスコ精神はまさにこのソフトパワーを重視して平和を築いていこうということであったわけで、それが日本の戦後の平和ムードに受け、日本ではいち早くユネスコ民間運動が起こります。その中核をなすユネスコクラブ、ユネスコ協会が今、全国で270あり、世界で日本が一番活発です。ユネスコ関係はこのほかユネスコ国内委員会がございまして、国会議員、民間セクター、NGOの代表がメンバーです。

そのほかユネスコの関係で日本で一番知られているのは世界遺産で、今、世界全体で911、日本で14あり、無形文化遺産は歌舞伎や文楽を始め日本では18、世界全体では200以上になっています。それから私が現役時代、力を入れたユネスコスクールは、若い人たちにユネスコの精神を理解し活動してもらうもので、世界で約9000あります。そういう形でユネスコは非常に裾野の広い活動をしております。ユネスコが取りあげているこういうソフトパワーは、どうしてもマスコミや政府の関心が当面の問題に行ってしまうので、なかなか政府レベルで対応しようというところまで行きませ

んが、途上国では非常にユネスコを頼りにしています。

途上国との関係でユネスコが一番力を入れているのが教育です。UNESCOのUNの次のEは教育なんです。Sは科学、Cはカルチャーで、

Eが最初にあるのは、やっぱり教育が一番重要という認識だと思います。教育というとき、当初は諸国間の教育交流に重点がありましたが、段々途上国の教育支援に比重が高くなって、ユネスコの予算と人員は、文化への倍を教育に割いています。途上国では基礎教育すら受けられない児童が大勢いて、それが貧困や地域紛争の原因になっています。2015年までに全世界で基礎教育を受けられない児童をゼロにするのが当面の目標ですけれども、最近の予想でも7200万ぐらいの児童は2015年の時点でまだ基礎教育を受けられないだろうとみられています。なるべく早い段階で、次の目標をどうするのか、しっかり議論をして、国連総会で第2の開発目標を定める必要があると思います。

文化に関しては今、世界遺産条約を始めとする7条約体制になって、文化及び文化の多様性をしっかり守っていく体制は出来ていると思いますが、ユネスコの今後を考えると、日本は教育、それも途上国の教育支援の面でもっとしっかり対応していただきたい。これがまめとして申し上げたい点でございます。





2011年4月4日 『クラブ協議会』 RYLArianスピーチ



東京外国語大学 鈴木 敬大 様

はじめまして。RYLArianの鈴木敬大と申します。この度は2750地区第7期RYLAへの参加をご支援くださり有難う御座いました。

次代を担うリーダー達と「新しい時代の新しいリーダーシップ」について熱く議論した2泊3日のプログラムは、とても刺激的でした。次代を担うという意識は先月起きた東北関東大震災を受けてより強くなり、これから社会に出るにあたり身の引き締まる思いです。

ある記事で「若者を見る目が変わった」とありましたが、これから私たちは、生きているということの幸せを噛み締めつつ、貢献心と共にヴィジョンを持って生きていけると信じています。

RYLAで学んだことを活かしつつ、自らも少しは役に立つ人材となれるよう日々精進して参ります。



武蔵野大学 橋本 翔太 様

私は、何か自分を変えるきっかけになるのではと考え、ライラの研修に参加したことがロータリークラブとの最初の接点でした。そこでは、知り合ったばかりの人々と「リーダーとは何か」というお題について、それぞれ意見をぶつけ合いひとつの形にしていくという、なかなかできない経験をしました。短い期間で打ち解け合い、成果を出さなければならぬので、自ら動いて自分の殻を破いて行動していくことを学びました。

この研修のおかげで、人前で話すことに慣れ、知らない人とコミュニケーションをする際、自分から積極的に話しかけるように意識が変わりました。何よりこの研修を終えたことで、自分に自信を持てるようになったことが大きな収穫だったのではと思っています。大学のゼミや授業、サークルの部長としての活動に大きくプラスになったと思っています。このような機会を与えて下さった六本木ロータリー・クラブの皆様には深く感謝しています。

今回、定例会にまでお招きしていただきありがとうございました。ロータリーの皆様との繋がりを私は大切にしていきたいと思っています。ご期待にこたえる為にも貪欲に様々なことに触れ、挑戦して自らを高めがんばっていきます。本当にありがとうございました。

2010～2011年度 臨時理事会報告

【会長挨拶】

お忙しいなか理事会に出席いただき誠にありがとうございます。
経済復興なくして日本の再興はないと考えており、自粛の花見・節電など、今後、日本再興のため色々考える必要があると思います。

クラブ協議会にて会員より「ロータリーでは政治の話は御法度」と発言がありましたが、皆様のご意見を伺いたく宜しくお願い致します。

⇒理事構成メンバーより

本日の会長挨拶を政治問題・社会問題と判断するか難しい、社会のことなので日本全体の話であるため問題とは思わない。政治・宗教の話は程度問題であり社会情勢を話すことは問題ないと思う。状況分析であれば良い。不文律で話せばよい。特定政治家の応援は良くないが特に問題とは思わない。常識の範囲で念頭において話をすれば良い。政治とロータリーとを結びつけて話せばよい。一会員からの参考意見として受け止めれば良い。などと意見があった。

【協議事項】

(1)長期計画について

一部修正があり、会長幹事に一任することが全会一致で承認される。

(2)六本木ヒルズ自治会 義援金、救済物資

10万円または10万円分の食料を送ることが全会一致で承認される。

現金または食料送付については、浅田奉仕プロジェクト委員長に一任する。

(3)ミクロネシアより留学生

鈴木エドワードさんが理事を務める一般財団法人軽井沢インターナショナルスクール設立準備財団の夏期セミナーに、ミクロネシアから留学生を留学させることを進めることが承認された。

(4)ロータリー財団の寄付について話が合った



ニコニコBOX情報

花岡 弘昌さん(山の手東グループガバナー補佐)

加藤 書久さん(山の手東グループ幹事)

お世話になります。

3回目のクラブ訪問にお邪魔しました。

脇若 英治さん

久しぶりの日本です。

東北大震災で被害に遭われた皆様にお見舞申し上げます。

篠塚 博さん

東日本大震災義援金御協力ありがとうございました。

花岡ガバナー補佐、加藤グループ幹事、再来訪ありがとうございました。

杉本 潤さん

4月は私の誕生月です。

中川 勉さん

早くおちつくと良いですね。

苅田 吉夫さん

大震災から1ヵ月たちました。被災地の復興と原発事故の解決が進展するよう祈っています。

山口 富久さん

から元気でも元気があったほうがいいです。

安井 悦子さん

脇若さん、お久しぶりです。

ようこそいらっしゃいました!

浅田 豊久さん

毎週月曜日は「勝手な省エネ日」にしましたので...

4月4日

合 計

54,000円

累 計

2,181,000円

財団が「ロータリー日本地震災害復興基金」を設置

去る3月11日に日本の太平洋岸を襲った巨大地震と津波に対応し、ロータリー財団管理委員会は、「ロータリー日本地震災害復興基金」を設置しました。この基金に寄せられた寄付はすべて、被災地域で行われる長期的な災害復興プロジェクトの支援に活用され、基金は管理委員会によって管理されます。

【ご寄付の方法】

●銀行振り込みでのご寄付

銀行振り込みでのご寄付は、公益財団法人ロータリー日本財団を通じて行うことができます(個人、法人からの寄付は税制優遇措置の対象となります)。

詳細は、日本事務局財団室までファックス(03-3903-3781)またはお電話(03-3903-3192)でお問い合わせください。

●オンラインでのご寄付

オンラインでの寄付は、3月14日より受け付けております。

(ただし、オンラインで寄付をされた場合は、税制上の優遇措置の対象とはならないことにご留意ください)

※詳細は、国際ロータリーホームページでご確認下さい

次回のプログラム

平成23年4月18日

卓話『世界に向けて日本を演出する』

株式会社フォルマ 代表取締役社長
東京六本木ロータリー・クラブ 会員

芹澤 ゆう 様

4月4日の例会出席率(暫定)

会員の例会出席者数 33名

会員の例会出席率 70%

ゲストの参加者数 5名

※ メーキャップを含めていない暫定の人数です。

東京六本木ロータリー・クラブ

会長 篠塚 博 幹事 山口 富久

広報・週報
委員長 片岡 雅敦

広報・週報
副委員長 渡辺 美智子

事務局 〒106-0032 東京都港区六本木6-10-3 グランドハイアット東京内 TEL:03-4333-8773 URL: <http://www.tokyoroppongi-rc.jp/>